

ベトナム情報レポート（2023年11月30日）

ベトナムビジネスサポートデスク
（株式会社NCネットワーク）

【2023年の二輪市場】

ベトナムと言えば“バイクの洪水”を思い浮かべる方も多いと思います。収入の増加と比例して車を購入する世帯も増えている一方で、道路や駐車場といったインフラの整備が追いついておらず、車では往来が不便な場所も多々残っています。そのため、やはりバイクは重要な足として市民の必需品であることに変わりはありません。2020年、2021年の二輪販売台数は300万台を割り込んだものの、2022年の販売台数は300万台に回復しています。

しかし、今年は不景気の影響で二輪市場も冷え込んでいます。ベトナムは9月が新学年の始まりとなり、毎年8月から9月半ばにかけて学生が通学のためにバイクや電動バイクを購入するため、この時期が最も二輪販売数が伸びる時期となります。しかし、ホンダの大手代理店によると、今年は5月から徐々に売上が減退し、8月に入っても例年のような盛り上がりがなく、去年に比べて消費者の購買力が半減しているそうです。どの店舗も大幅な割引や特典をつけて販売していますが、売上は芳しくありません。

新車販売だけでなく、中古市場も厳しい状況です。これには2つの要因があります。1つ目は8月15日よりナンバープレートに関する新しい法令が発効したことです。以前はバイクを売りたい人は中古販売店と委任契約を結び、買い手が現れた時に名義変更を行うことができました。しかし、新しい法令では名義変更の際に元の所有者が手続きを行う必要があります。元の所有者と連絡がとれない場合はこの手続きができなくなるため、リスクを感じて中古車の購入を考える人が急減しました。2つ目は前述のとおり新車が値下がりしているため、そちらを買う人が増えていることです。

ベトナム二輪車製造者協会（VAMM）によると、ホンダ、ピアッジョ、スズキ、SYM、ヤマハの加盟5社による2023年上半期の二輪販売台数は122.4万台で、前年同期（140万台）と比べて13.1%減でした。また7月～9月の販売台数は61万台で、前年同期比19.88%減と発表しています。コロナ禍で衰退した市場がようやく去年回復したところで、また今年も減少に転じてしまいました。二輪関係者は先を見通せない状況を不安視しています。